

環境を考慮した学校施設づくり事例集

— 継続的に活用するためのヒント — (概要)

令和2年3月 文部科学省

全ての学校において、環境を考慮した学校施設（エコスクール）づくりが推進され、継続的に活用されることを目的とし、地球温暖化など学校を取り巻く状況を踏まえ、エコスクールを継続的に活用するためのポイントや施設面・運営面・教育面の3つの視点ごとの取組事例を紹介。

第1章 エコスクールについて

エコスクールを取り巻く状況

- 地球温暖化による影響（平均気温の上昇、台風等）
- 環境教育の推進、ESDの実践、SDGsの達成への貢献

エコスクールの活用状況

- 8割の学校がエコスクールを活用した環境教育に取り組んでいる
- 継続的な活用に課題を持っている学校もある

エコスクールを継続的に活用するためのポイント

POINT かんがえる・つくる

良好な室内環境の実現に向けて、地域の自然を取り入れ、施設の使い方を想定した計画づくり

POINT つかう・つなぐ

エコスクールの仕組みや使い方を理解し、継承するための仕組みづくり

施設面
やさしく造る

運営面
賢く・永く使う

教育面
学習に資する

POINT まなぶ

人や自然など地域の資源を活かし、児童生徒による主体的な取組

- ☑ 計画段階から教育に活かす施設の使い方を想定することや施設の使い方のマニュアル等を作成し、継承
- ☑ 設計者の環境教育に対する理解や地域の専門家をはじめとする地域住民等の協力
- ☑ 3つの視点を組み合わせながら、取り組む

第2章 エコスクールの活用事例

エコスクールを継続的に活用している取組について、施設面、運営面、教育面の3つの視点ごとに14事例を紹介。（うち4事例を以下に抜粋）

事例03 東京都江戸川区立 **新築** 篠崎第三小学校

「環境サイン」と親水緑道を活かした地域連携による環境教育



Keyword サインによる仕組み解説 / 地域の自然環境の活用 / 地域の専門家による支援

エコスクールの施設・設備を解説した「環境サイン」を校内各所に設置し、省エネ・木材利用等の環境に配慮して整備した校舎について、児童に分かりやすく見せる工夫をしている。また、隣接する篠田堀親水緑道を使い、自然との調和や環境への意識を醸成する教育を、専門家も参画しながら実施している。



篠田堀親水緑道での活動

事例04 東京都板橋区立 蓮根第二小学校

地域住民と連携した愛着の持てるピオトープの整備と校庭芝生化



Keyword 地域の専門家による支援 / 地域住民の参画 / マニュアル作成と継承

児童や教職員とともに保護者や地域住民が主体となってピオトープづくりや校庭の芝生の植え付けを行っている。また、地域の専門家を中心に、児童や地域住民等が参画して、ピオトープや芝生の管理などを通じた地域の環境保全活動に対して、愛着を持って継続的に取り組んでいる。



校庭の芝刈り

事例06 愛知県豊田市立 **改修** 土橋小学校

エコ改修と環境教育が連動した「ハイブリッド・エコスクール」



Keyword 環境教育プログラムの構築 / 技術者による支援 / エコ技術の可視化

設計段階から、専門家の協力を得て、校舎を活用した環境教育の実践プログラムを策定し、エコ改修と環境教育を連動させた。エコ改修校舎を新入生や地域住民に案内する「エコガイド」などの言語活動を通して児童の思考力・判断力・表現力等を育成し、地域住民も含めた環境への意識を醸成している。



断熱材についてエコガイド

事例10 奈良県生駒市立 **改修** 鹿ノ台中学校

ゼロエネ校舎を活かしたエコ活動でグリーンフラッグ取得



Keyword 生徒主体による環境活動 / 環境教育プログラムの構築 / エコ施設設備の充実

公立学校トップクラスの太陽光発電設備や外壁等の断熱化により、ゼロエネルギー化を目指したスーパーエコスクールであり、生徒自らがエコ活動を考案するなど、委員会活動を中心とした体制を構築している。その継続的な取組が評価され、グリーンフラッグを2回取得している。



鹿ノ台中学校のグリーンフラッグ

<エコスクールの主な整備内容>

☀️: 太陽光発電

🔥: 太陽熱利用

🌱: 自然共生

🪵: 木材利用

♻️: その他の再生可能エネルギー活用

💧: 省エネルギー・省資源

♻️: 資源リサイクル

🌿: その他（自然採光・自然換気等）